

13 大学・短大・専門学校の入試

(1) 総合選抜型（旧AO入試：アドミッションズ・オフィス）

受験先の学校が入学を審査する事務局を設け、その学校側が求めている学生像と一致することを重要視した方式である。その学校で学びたいという強い気持ちを持ち、一定の基礎能力や特異な能力を備えた学生を選抜する入試システムで、各自の意志で自由に応募できる。

(2) 推薦入試・・・評定平均値などが大学等の指定値以上で学校長の推薦が必要

① 指定校推薦

9月～11月に実施される全て専願の入試方式である。進学実績と入学後の状況および学校間の信頼関係をもとに成り立っている。人数制限があり、希望者が多数の時は校内選考会議において受験条件を含めた審議により決定する。

② スポーツ推薦

8月～10月に実施される全て専願の入試方式である。募集要項の応募条件に合致するもの（高校3年間の部活動において、全国大会出場等の成績）が必要である。また、入学後も部活動の継続が条件である。

③ 文化・芸術・国家資格等の推薦

9月～10月に実施される全て専願の入試方法である。募集要項の応募条件に合致するもの（文化・芸術活動において全国コンクール入賞等、または各種国家資格合格）が必要である。

④ 工業高校生対象の推薦

工業高校卒業見込みの生徒が対象で、全て専願の入試方式である。推薦条件は非常に厳しく、高校3年間の成績等が特に優秀であることが必要である。

⑤ 一般推薦

10月～12月に実施され、専願・併願の両方がある。学科試験の結果が合否判定において重視される。

⑥ 国公立大の推薦

10月～12月に実施され、出願資格の主流はAランクである。大学入試共通テストが免除される場合もあり、学科試験・面接・小論文で合否が決定する。

(3) 一般入試

1月～3月に実施される入試方法である。試験科目は、理系の大学では〔英・数・理〕、文系の大学では〔英・国・社〕が主になる。受験科目が多いため、工業高校生にはかなり不利な要素が多い。国公立大学（一部私立大学）の場合、大学入学共通テスト（1月実施）を受験後、各大学の2次試験を受験する。